

# 令和5年度 秋田県由利地域保健医療福祉協議会議事要旨

日時 令和6年3月12日(火)午後2時55分～3時55分

場所 本荘グランドホテル 鳥海の間

※委員名簿は、別紙のとおり

## 次 第

- 1 開会
- 2 由利地域振興局福祉環境部長あいさつ
- 3 委員の紹介
- 4 報告(令和5年度部会報告)
  - (1) 献血推進部会
- 5 議事
  - (1) 令和5年度事業計画及び実績について
  - (2) 令和6年度事業について
  - (3) その他
- 6 閉会

## 配付資料

- 【資料1】令和5年度部会報告について(献血推進部会)
- 【資料2】令和5年度事業計画及び実績
- 【資料3】令和6年度事業

## 部会報告

○献血推進部会について、事務局から説明。

(齋藤委員) 若年者の献血離れが問題だと聞いた。小・中・高校生への献血普及はどのように行っているのか？

(石川技師) 高校生に対しては街頭献血実施場所の周知や啓発資材の配布等を通じて献血思想の普及啓発に努めている。

小・中学生については、保健所として具体的な取組等は実施していないが、希望する学校があれば秋田県赤十字血液センターが実施している献血セミナーを周知するなど引き続き普及啓発に努めていく。

(齋藤委員) 高等学校へ献血バスを配車しているか？

(石川技師) 今年度から高等学校へ献血バスを配車していない。400 mL献血に比べ200 mL献血の需要が多くないことに加え、御協力いただける生徒さんの数も減ってきていることから献血バスの配車を見送っている。一方で、若年者への献血思想の普及啓発は重要なため、街頭献血実施場所の周知や啓発資材の配布等を通じて献血思想の普及啓発を図っていく。

## 議事

(1) 令和5年度事業計画及び実績について、事務局から説明。

(齋藤委員) 資料にある、厚生労働省の医療施設調査で、毎月行っている動態調査や病院報告の患者数を把握しなければならない理由が知りたい。

(石川技師) 動態調査、病院報告ともに厚生労働省が主導で行っている調査であり、「統計法」に基づく調査である。

動態調査は医療施設の分布や整備の実態を明らかにするとともに医療施設の診療機能を把握するために、病院報告は病院や病床を有する診療所における患者の利用状況を把握するために実施され、いずれも医療行政の基礎資料を得ることを目的としている。

(齋藤委員) 予防接種についての電話相談実績が0件だが、風しんの予防接種についての問合せもなかったのか？

(田中課長) 予防接種に関する業務を所管しているのは市町村である。コロナワクチンに関連した電話が希に来ることはあるが、風しんの予防接種に関する相談は寄せられていない。

(齋藤委員) 風しん予防接種の周知状況や抗体保有率についてどのような状況にあるか把握しているか？

(石井次長) 接種率等は市町村分を県庁で取りまとめ、国に報告しており、保健所は経由していない。そのため、保健所では情報を持ち合わせていない。

(2) 令和6年度について、事務局から説明した。

(齋藤委員) コメディカルとはどういう意味か。

(佐藤主任) 医師以外の医療従事者や支援者のことである。

(齋藤委員) バリアフリー適合証交付事業だが、資料によると令和5年は適合証交付が0件であったが、広報が行き届いていないのか、なぜ0件であったのかのような見解を持っているか。

(石井次長) 県ではバリアフリー条例が制定されて、バリアフリー化を大きく進めており、当時は申請が多数あったと思われる。今年度申請がない理由についてははっきりわからないが、現在はバリアフリーは当たり前となっており、申請はなくなってきていると考える。

(3) その他

(湊 議長) 議事以外のことでも何かあれば発言いただきたい。

(齋藤委員) 由利本荘市長に救急車の有料化について聞きたい。松阪市で今年の6月から救急車が有料化される。これは医師の負担軽減を兼ねており、コンビニ受診が非常に多く、対応に苦慮していることから有料化するという。本荘由利地区の救急車の活動状況やコンビニ受診が多いのか少ないのか、分かる範囲で教えて欲しい。市長の権限ではないかもしれないが、有料化を検討しているかいないかも含めて教えて欲しい。

(湊 議長) 有料化を検討しているか、ということに関して言えば、検討していない。

(軽部委員) 3年ほどコロナの流行があり、救急車の稼働が高かったが、現在はそれほどでもないという状況である。

現在、病院受診をする方の交通手段が大変ではないかと感じている。家族が受診に連れてきて、夕方まで付き添っているという状況がある。受診に係る交通手段、市内の巡回バスの立ち寄り先を多くするとか、時間によっては便数を多くするといったようなことができれば、高齢者の方の利便性が良くなるのではないかと感じている。

(湊 議長) 令和6年度に公共交通について検討していく予定である。皆さん全てが満足いくという状況はなかなか難しいものがありますが、そういったご意見は承知しておりますので考えてまいりたい。

(湊 議長) 社協の立場で何かございませんか。

(三浦委員) 社協の事業で介護関係の仕事を行っている。特養、ショートステイ、デイサービスと色々あるわけですが利用者が減少してきている。社会的状況、地域の状況から、経営が厳しいと感じている。民間事業者であるので、努力はしているが、行政からあらゆる面で協力していただければありがたいと思う。